

平成 2 6 年度 総会資料

	ページ
平成 2 5 年度 事業報告	1~5
平成 2 5 年度 決算報告	6 ~ 11
平成 2 6 年度 事業計画	12
平成 2 6 年度 予算	13 ~ 15
平成 2 6 年度 支部表彰	16 ~ 17

25年度事業報告

1. 支部総会

開催日：4月23日(火)

場

出席
議

公益社団法人

- 2) 平成24年度決算報告
- 3) 平成25年度事業計画
- 4) 平成25年度予算
- 5) 支部表彰
- 6) 32期支部役員について

2. 理事会および常任理事会

(1) 理事会

開催日：4月23日(火)

場 所：広島市工業技術センター

出席者：24名

- 議 題：1) 平成24年度事業報告
2) 平成24年度決算報告
3) 平成25年度事業計画
4) 平成25年度予算
5) 支部表彰
6) 32期支部役員について

(2) 常任理事会

第1回常任理事会

開催日：平成25年4月9日(火)

場 所：広島県鋳物工業協同組合

出席者：10名

議 題：

- 1) 第32期支部役員選挙の結果
- 2) 平成24年度支部事業報告、決算報告
- 3) 平成25年度支部事業計画、予算
- 4) 総会・講演会の準備状況報告
- 5) その他

第2回常任理事会

開催日：平成25年7月30日(火)

平成26年4月23日

日本鋳造工学会中国四国支部

- 1) 第32期支部の運営体制について
- 2) YFE事業について
- 3) その他

第3回常任理事会

開催日：平成25年9月13日(金)

場 所：広島県鋳物工業協同組合

出席者：11名

議 題：

- 1) 平成25年度事業中間報告について
- 2) 支部研究発表会・講演講習会について
- 3) 平成26年度本部表彰推薦について
- 4) その他

第4回常任理事会

開催日：平成26年1月30日(木)

場 所：広島県鋳物工業協同組合

出席者：11名

議 題：

- 1) 平成25年度事業中間報告について
- 2) 平成26年度事業計画について
- 3) 平成26年度支部表彰について
- 4) 総会について
- 5) 地方講演会について

3. 役員(第32期 平成25,26年度)

支 部 長 今西 寛文 (株)今西製作所)

副支部長 下西 淳 (マツダ(株))

副支部長 旗手 稔 (近畿大学工学部)

顧問 石田 俊一 (友鉄工業(株))
 同 片島 三朗 (広島大学名誉教授)
 同 小松 眞一郎 (近畿大学名誉教授)
 同 佐野 弘明 (三菱重工交通機器
 エンジニアリング(株))
 同 塩田 俊雄 (近畿大学名誉教授)
 同 吉野 克己 (ヨシワ工業(株))
 同 柳澤 平 (広島大学名誉教授)
 同 小西 正明 (広島工業大学)

常任理事 (10名)

糸藤 春喜 (東北大学 ACS センター)
 茨木 浩夫 (三菱重工業(株))
 尾添 伸明 (島根県産業技術センター)
 桑原 修 (広島市工業技術センター)
 友廣 和典 (友鉄工業(株))
 三島 万治郎 (広島アルミニウム工業(株))
 藤原 慎二 (アサゴエ工業(株))
 廣藤 朋一 (日鋼テクノ(株))
 松木 一弘 (広島大学)
 眞鍋 豊土 (高知県工業技術センター)

理事 (12名)

石原 忠弥 (株ダイハツメタル)
 大田 喜穂 (株大田鋳造所)
 須藤 誠治 (東洋電化工業(株))
 笠原 康正 (株北川鉄工所)
 小林 敏彦 (福山鋳造(株))
 澤本 章 (山口大学教育学部)
 田中 保昭 (大和重工(株))
 筒井 幹治 (株シンコー)
 花房 龍男 (広島県立総合技術研究所)
 日野 実 (広島工業大学)
 細川 順司 (ヨシワ工業(株))
 前田 安郭 (海上保安大学校)

監事 (2名)

九十九 徹 (株ツチヨシ産業)
 眞部 哲 (西村黒鉛(株))

4. 支部表彰

功労賞 今西寛文 君 (株今西製作所)
 尾木哲夫 君 (三菱重工業(株))
 奨励賞 府山伸行 君 (広島県立総合技術研究所
 西部工業技術センター)
 安部昌弘 君 (株宇部スチール)
 片島賞 5件

5. 鋳造技術講演会

(1) 鋳造技術講演会 (4月)

共催：(公財)広島市産業振興センター
 開催日：平成 25 年 4 月 23 日(火)
 場所：広島市工業技術センター
 参加者：92 名

《支部奨励賞受賞講演》

「圧力制御鋳造によるアルミニウム合金の高度化」
 広島県立総合技術研究所 府山伸行 君
 「高品質な大型鋳鋼品を製造するための押湯健全
 高さの決定」
 (株)宇部スチール 安部昌弘 君

《特別講演》

「黒鉛は何故、丸くなるのか、それにはMgやRE
 は必要か」
 早稲田大学 名誉教授 中江 秀雄 君
 情報交換会 58名参加

(2) 鋳造技術講演会 (12月)

共催：(公財)広島市産業振興センター
 開催日：平成 25 年 12 月 4 日(水)
 場所：広島市工業技術センター
 参加者：95 名

《3Dプリンター(付加製造)と鋳造への活用技術》
 「"3Dプリンター"と"ものづくり"」

シーメット(株) 開発部 部長 大場好一 君
 「アディティブマニファクチャリング(付加製造法)を実現する
 EOSINTとFORMIGAのご紹介」

(株)NTTデータエンジニアリングシステムズ

AMビジネスユニット営業部 GM 井上敦由 君

「砂型造形 3D プリンターの概要及びその活用事例」

(株)EX ONE 営業部 加藤未来 君

「3D 積層砂型工法“鋳物造りの現場から”

(株)コイワイ 専務取締役 小岩井修二 君

情報交換会 47 名参加

6. 研究発表会

共 催：(公財)広島市産業振興センター

開催日：平成 25 年 12 月 4 日(水)

場 所：広島市工業技術センター

参加者：75 名

「摩耗に対する基地組織の影響の基礎研究」

ヨシワ工業(株) 吉野正弘 君，榎田康弘 君，

藤本正樹 君，松田賢二 君，○川元健嗣 君

「砂かみ欠陥判定用試料として溶湯浸漬した生型砂の観察」

(株)ツチヨシ産業 ○枝根和也 君，長井壮一 君，

天久裕樹 君，上林仁司 君，黒川豊 君

「環境対応型無鉛はんだへの Bi 系合金の適応」

広島大学工学部 ○小西卓磨 君，寺田圭吾 君，

末次憲一郎 君，許哲峰 君，

崔龍範 君，松木一弘 君

「環境対応型 Zn 系高温はんだ用合金の設計と開発」

広島大学大学院 ○寺田圭吾 君，松木一弘 君，

崔龍範 君，許哲峰 君，佐々木元 君，

広島大学産学・地域連携センター 末次憲一郎 君

「高シリコン共晶黒鉛鋳鉄の開発」

(株)北川鉄工所 素形材事業部 ○山本義昭 君，

北川 潔 君，前田圭史 君

「鋳鉄溶湯のアーケ・スラグ処理法と操業の最適化」

(株)木下製作所 技術部 ○笹木正嗣 君，

広島大学 工学研究科 杉尾健次郎 君，柳沢平 君

広島市産業振興センター 隠岐貴史 君，倉本英哲 君

7. Y F E 鋳造技術研究会

(1) 鋳造技術研究会・工場見学会

開催日：平成 25 年 9 月 20 日(金)、21 日(土)

参加者：24 名

工場見学会

大和重工(株)吉田工場

(株)ツチヨシ産業 技術研究センター

イブニングセミナー

「若手鋳造技術者への期待」

大和重工(株) 産業機械統括本部 長沼静 君

研究会

「鋳物ホーロー浴槽の特徴」

大和重工(株) 末岡雅司 君

「砂かみ欠陥判定用試料として溶湯浸漬した生型砂の観察」

(株)ツチヨシ産業 ○枝根和也 君，長井壮一 君

，天久裕樹 君，上林仁司 君，黒川豊 君

「ばい焼再生砂の色差としゃく熱減量」

(株)ツチヨシ産業 ○長井壮一 君，枝根和也 君，

天久裕樹 君，上林仁司 君，黒川豊 君

「溶融系人工砂使用によるアルミ製品鋳肌改善例」

群栄化学工業(株) 馬場和明 君

「レーザー焼結による鋳型迅速作製技術」

キングパーツ(株) 三島勝則 君

「操業取鍋におけるフェイディングと 2 次接種の効果について」

(株)今西製作所 滝本哲治 君

情報交換会：18 名参加

(2) いいもの研究部会

1) 第 36 回研究部会

共 催：(公財)広島市産業振興センター

開催日：平成 25 年 8 月 9 日(金)

場 所：広島市工業技術センター

参加者：25 名

「大物鋳鉄の CAE 解析事例」

(株)宇部スチール 宮本論卓 君

「鋳造シミュレーションの事例紹介」

(株)大田鋳造所 岩角圭太 君

「窒化球状黒鉛鋳鉄の疲労強さ」

近畿大学工学部 ○旗手稔 君，信木関 君，

大学院 河崎裕介 君

コマツ・生産技術開発センタ 浜坂直治 君

「球状黒鉛粒における Mg の WDS 分析」

東北大学ACSセンター 糸藤春喜 君

「鋳造相談事例に関するフリーディスカッション」

情報交換会：8 名参加

(3) 第 8 回こども鋳物教室

共 催：(公財)広島市産業振興センター

広島市交通科学館

開催日：平成 26 年 2 月 23 日(日)

場 所：広島市交通科学館

参加者：20 名

8 . 支部会報「こしき」36 号

発刊日：平成 25 年 12 月 4 日(水)

一般会計 収支決算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考	
事業活動収支の部							
1 事業活動収入							
(1) 特定資産運用収入	特定資産運用収入		0	0	0		
(2) 会費収入	賛助会費収入		580,000	535,000	-45,000	46社	
(3) 事業収入	大会講演会収入	講演大会収入	300,000	513,000	213,000	講演会(4月)	
		講習会	350,000	350,000	0	講演会(12月)	
		YFE大会	250,000	64,000	-186,000		
		工場見学会	150,000	0	-150,000		
		調査研究収入	研究会収入	0	0	0	
		会誌発行事業収入	会報事業賛助金	600,000	920,000	320,000	31社
	情報交換会収入		0	160,000	160,000		
(4) 補助金	本部交付金		250,000	260,250	10,250		
(5) 寄付金	寄付金収入		0	0	0		
(6) 雑収入	受取利息		2,000	227	-1,773		
	その他		0	5,000	5,000		
事業活動収入計			2,482,000	2,807,477	325,477		
2 事業活動支出							
(1) 事業支出							
(2) 管理費支出	大会講演会支出	講演大会支出	150,000	380,000	230,000	講演会(4月)	
		講習会	150,000	388,000	238,000	講演会(12月)	
		YFE大会支出	220,000	81,290	-138,710		
		調査研究支出	研究会支出	210,000	0	-210,000	
		奨励表彰支出	55,000	69,477	14,477		
		会誌発行事業支出	会報出版費	600,000	631,100	31,100	
		その他事業	総会費	0	18,000	18,000	
		会議費		70,000	199,030	129,030	
		旅費交通費		60,000	151,860	91,860	
		通信運搬費		156,300	112,972	-43,328	
		消耗品費		50,000	48,048	-1,952	
		印刷製本費支出		150,000	77,429	-72,571	
		支払手数料		6,000	2,415	-3,585	
	備品費		0	4,480	4,480		
	租税公課		60	41	-19		
	事務局委託費		504,000	504,000	0		
事業活動支出計			2,381,360	2,668,142	286,782		
事業活動収支差額			100,640	139,335	38,695		
当期収支差額			100,640	139,335	38,695		
前期繰越収支差額			841,483	841,483	0		
次期繰越収支差額			942,123	980,818	38,695		

特別会計 全国大会準備基金 収支決算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
(1) 特定資産運用収入	特定資産運用収入		126,000	126,000	0	
(2) 雑収入	受取利息	広銀普通預金	120	124	4	
		郵貯普通貯金	60	86	26	
		定期預金	600	500	-100	
事業活動収入計			126,780	126,710	-70	
2 事業活動支出						
(1) 事業支出	支払手数料		1,500	1,165	-335	
(2) 管理費支出	利子税		25,600	25,736	136	
事業活動支出計			27,100	26,901	-199	
事業活動収支差額			99,680	99,809	129	
当期収支差額			99,680	99,809	129	
前期繰越収支差額			10,940,313	10,940,313	0	
次期繰越収支差額			11,039,993	11,040,122	129	

特別会計 片島賞基金 収支決算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
(1) 雑収入	受取利息	もみじ普通預金	220	213	-7	
事業活動収入計			220	213	-7	
2 事業活動支出						
(1) 事業支出	奨励表彰支出	副賞資金	50,000	60,000	10,000	
	支払手数料		315	315	0	
(2) 管理費支出	利子税		0	42	42	
事業活動支出計			50,315	60,357	10,042	
事業活動収支差額			-50,095	-60,144	-10,049	
当期収支差額			-50,095	-60,144	-10,049	
前期繰越収支差額			1,122,907	1,122,907	0	
次期繰越収支差額			1,072,812	1,062,763	-10,049	

特別会計 若手技術者育成基金 収支決算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	備考
事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
(1) 事業収入	こども鑄物教室	参加料	5,000	8,000	3,000	
(2) 雑収入	受取利息	広銀普通預金	200	269	69	
事業活動収入計			5,200	8,269	3,069	
2 事業活動支出						
(1) 事業支出	こども鑄物教室	材料費	40,000	16,821	-23,179	
		保険料	2,000	0	-2,000	
		道具、消耗品	0	5,628	5,628	
(2) 管理費支出	支払手数料		500	945	445	
(3) 雑支出	利子税		50	52	2	
	こども鑄物教室	昼食費	10,000	12,112	2,112	
事業活動支出計			52,550	35,558	-16,992	
事業活動収支差額			-47,350	-27,289	20,061	
当期収支差額			-47,350	-27,289	20,061	
前期繰越収支差額			1,353,018	1,353,018	0	
次期繰越収支差額			1,305,668	1,325,729	20,061	

一般会計 貸借対照表

平成26年3月31日現在

大科目	中科目	小科目	24年度	25年度	増減	備考
資産の部						
流動資産						
	現金		0	0	0	
	普通預金	一般会計	335,850	184,133	-151,717	
		こしき会計	505,633	796,685	291,052	
流動資産合計			841,483	980,818	139,335	
資産合計			841,483	980,818	139,335	
負債の部						
負債			0	0	0	
正味資産の部						
前期繰越正味資産			2,931,944	841,483	-2,090,461	
本年度収支差			-2,090,461	139,335	2,229,796	
正味資産合計			841,483	980,818	139,335	
負債・正味資産合計			841,483	980,818	139,335	

全国大会準備基金会計 貸借対照表

平成26年3月31日現在

大科目	中科目	小科目	24年度	25年度	増減	備考
資産の部						
流動資産						
	現金		0	0	0	
	普通預金	広銀 郵便局	628,681	628,015	-666	
			311,632	412,107	100,475	
流動資産合計			940,313	1,040,122	99,809	
固定資産						
	定期預金		2,000,000	2,000,000	0	
	国債		5,000,000	5,000,000		
	国債		3,000,000	3,000,000	0	
固定資産合計			10,000,000	10,000,000	0	
資産合計			10,940,313	11,040,122	99,809	
負債の部						
負債			0	0	0	
正味資産の部						
前期繰越基金			10,840,773	10,940,313	99,540	
本年度収支差額			99,540	99,809	269	
基金			10,940,313	11,040,122	99,809	
負債・正味資産合計			10,940,313	11,040,122	99,809	

片島賞基金会計 貸借対照表

平成26年3月31日現在

大科目	中科目	小科目	24年度	25年度	増減	備考
資産の部						
流動資産						
	現金		0	0	0	
	普通預金		1,122,907	1,062,763	-60,144	
流動資産合計			1,122,907	1,062,763	-60,144	
資産合計			1,122,907	1,062,763	-60,144	
負債の部						
負債			0	0	0	
正味資産の部						
前期繰越基金			1,173,040	1,122,907	-50,133	
本年度収支差額			-50,133	-60,144	-10,011	
基金			1,122,907	1,062,763	-60,144	
負債・正味資産合計			1,122,907	1,062,763	-60,144	

若手技術者育成基金会計 貸借対照表

平成26年3月31日現在

大科目	中科目	小科目	24年度	25年度	増減	備考
資産の部						
流動資産						
	現金		0	0	0	
	普通預金		1,353,018	1,325,729	-27,289	
流動資産合計			1,353,018	1,325,729	-27,289	
資産合計			1,353,018	1,325,729	-27,289	
負債の部						
負債			0	0	0	
正味資産の部						
繰越基金			0	1,353,018	1,353,018	
本年度収支差額			1,353,018	-27,289	-1,380,307	
基金			1,353,018	1,325,729	-27,289	
負債・正味資産合計			1,353,018	1,325,729	-27,289	

中国四国地区 財産目録

平成26年3月31日現在

大科目	中科目	小科目	24年度	25年度	増減	備考
資産の部						
流動資産						
現金	一般会計		0	0	0	
	全国大会準備基金		0	0	0	
	片島賞基金		0	0	0	
	若手技術者育成基金		0	0	0	
普通預金	一般会計	広銀/西条	335,850	184,133	-151,717	
	こしき口座	広銀/広	505,633	796,685	291,052	
	全国大会準備基金	広銀/広	628,681	628,015	-666	
	普通貯金	郵便局	311,632	412,107	100,475	
	片島賞基金	もみじBK/高屋	1,122,907	1,062,763	-60,144	
	若手技術者育成基金	広銀/横川	1,353,018	1,325,729	-27,289	
流動資産計			4,257,721	4,409,432	151,711	
固定資産	定期預金	広銀/西条南	2,000,000	2,000,000	0	
	(期日 27.04.18)					
	国債 (17.11.21 ~ 27.09.20)		5,000,000	5,000,000	0	
	国債 (19.09.20 ~ 29.09.20)		3,000,000	3,000,000	0	
固定資産計			10,000,000	10,000,000	0	
資産合計			14,257,721	14,409,432	151,711	
負債の部						
負債	3基金		13,416,238	13,428,614	12,376	
正味資産の部						
正味資産合計			841,483	980,818	139,335	
負債・正味資産合計			14,257,721	14,409,432	151,711	

別紙の通り収支決算書を報告いたします。

平成26年 4月10日

公益社団法人 日本鑄造工学会中国四国支部

支部長 今西 寛文

別紙監査の結果、適法かつ正確であることを認めます。

平成26年 4月10日

監事 九十九 徹



監事 真部 哲



平成 26 年度事業計画

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| (1) 支部総会・支部表彰 | 1 回 4 月 23 日 (於、広島市工業技術センター) |
| (2) 理事会 | 1 回 4 月 23 日 (於、広島市工業技術センター) |
| (3) 常任理事会 | 4 回 4 月、7 月、9 月、1 月 |
| (4) 鑄造技術講演・講習会 | 2 回 4 月 23 日、12 月 |
| (5) 支部研究発表会 | 1 回 12 月 |
| (6) Y F E 事業 | |
| ・ 鑄造技術研究会 | 1 回 7 ~ 9 月 |
| ・ いいもの研究部会 | 2 ~ 3 回 5 月 22 日、7 月、3 月 |
| ・ 鑄物教室 | 1 回 10 ~ 11 月 |
| (7) 地方講演会 | 1 回 11 ~ 2 月 |
| (8) 支部会報「こしき」37 号の発行 | 12 月 |
| (9) その他 | |
| ・ 第 164 回全国講演大会 | |
| 開催日：平成 26 年 5 月 30 日 ~ 6 月 2 日 | |
| 開催地：京都市勧業館「みやこめっせ」 | |
| ・ 第 165 回全国講演大会 (予定) | |
| 開催日：平成 26 年 10 月 17 日 ~ 10 月 20 日 | |
| 開催地：北九州市国際会議場 | |
| ・ 鑄造カレッジ中国四国地区の開催 | |
| 開催：平成 26 年 6 月 ~ 平成 27 年 2 月 | |
| 場 所：広島県鑄物工業協同組 | |

一般会計 収支予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

大科目	中科目	小科目	予算額	前年度予算	差異	備考
事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
(1) 会費収入	賛助会費収入		580,000	580,000	0	
(2) 事業収入	大会講演会収入	講演大会収入	300,000	300,000	0	
		講習会	350,000	350,000	0	
		YFE大会	250,000	250,000	0	
		工場見学会	150,000	150,000	0	
	調査研究収入	研究会収入	0	0	0	
	会誌発行事業収入	会報事業賛助金	600,000	600,000	0	
	情報交換会			0	0	
(3) 補助金	本部交付金		250,000	250,000	0	
(4) 雑収入	受取利息		2,000	2,000	0	
事業活動収入計			2,482,000	2,482,000	0	
2 事業活動支出						
(1) 事業支出	大会講演会支出	講演大会支出	270,000	150,000	120,000	
		講習会	150,000	150,000	0	
		YFE大会支出	235,000	220,000	15,000	
		工場見学会支出	66,000	0	66,000	
	調査研究支出	研究会支出	210,000	210,000	0	
	奨励表彰支出		46,000	55,000	-9,000	
	会誌発行事業支出	会報出版費	600,000	600,000	0	
	その他事業	総会費	25,000	0	25,000	
(2) 管理費支出	会議費支出		32,000	70,000	-38,000	
	旅費交通費支出		75,000	60,000	15,000	
	通信運搬費支出		186,300	156,300	30,000	
	消耗品費支出		44,000	50,000	-6,000	
	印刷製本費支出		133,000	150,000	-17,000	
	支払手数料		6,000	6,000	0	
	租税公課		60	60	0	
	事務局委託費		504,000	504,000	0	
事業活動支出計			2,582,360	2,381,360	201,000	
事業活動収支差額			-100,360	100,640	201,000	
当期収支差額			-100,360	100,640	201,000	
前期繰越収支差額			980,818	841,483	-139,335	
次期繰越収支差額			880,458	942,123	61,665	

特別会計 全国大会準備基金 収支予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

大科目	中科目	小科目	予算額	前年度予算	差異	備考
事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
(1) 特定資産運用収入	特定資産運用収入		126,000	126,000	0	
(2) 雑収入	受取利息	広銀普通預金	100	120	-20	
		郵貯普通貯金	100	60	40	
		定期預金	500	600	-100	
事業活動収入計			126,700	126,780	-80	
2 事業活動支出						
(1) 事業支出	支払手数料		1,500	1,500	0	
(2) 管理費支出	利子税		25,000	25,600	-600	
事業活動支出計			26,500	27,100	-600	
事業活動収支差額			100,200	99,680	-520	
当期収支差額			100,200	99,680	-520	
前期繰越収支差額			11,040,122	10,940,313	-99,809	
次期繰越収支差額			11,140,322	11,039,993	-100,329	

特別会計 片島賞基金 収支予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

大科目	中科目	小科目	予算額	前年度予算	差異	備考
事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
(1) 雑収入	受取利息	もみじ普通預金	200	220	-20	
事業活動収入計			200	220	-20	
2 事業活動支出						
(1) 事業支出	奨励表彰支出	副賞資金	100,000	50,000	50,000	
	支払手数料		300	315	-15	
(2) 管理費支出	利子税		40	0	40	
事業活動支出計			100,340	50,315	50,025	
事業活動収支差額			-100,140	-50,095	-50,045	
当期収支差額			-100,140	-50,095	-50,045	
前期繰越収支差額			1,062,763	1,122,907	60,144	
次期繰越収支差額			962,623	1,072,812	110,189	

特別会計 若手技術者育成基金 収支予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

大科目	中科目	小科目	予算額	前年度予算	差異	備考
事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
(1) 事業収入	こども鋳物教室	参加料	8,000	5,000	3,000	
(2) 雑収入	受取利息	広銀普通預金	300	200	100	
(3) 他会計からの繰入			0	0		
事業活動収入計			8,300	5,200	3,100	
2 事業活動支出						
(1) 事業支出	こども鋳物教室	材料費	40,000	40,000	0	
		保険料	0	2,000	-2,000	
	支払手数料		500	500	0	
(2) 管理費支出	利子税		50	50	0	
(3) 雑支出	こども鋳物教室	昼食費	10,000	10,000	0	
事業活動支出計			50,550	52,550	-2,000	
事業活動収支差額			-42,250	-47,350	5,100	
当期収支差額			-42,250	-47,350	5,100	
前期繰越収支差額			1,325,729	1,353,018	27,289	
次期繰越収支差額			1,283,479	1,305,668	22,189	

平成 26 年度支部表彰

支部功労賞：2 件

旗手 稔（近畿大学工学部）

平成 4 年 4 月から本支部に在籍し、塩田支部長（4 年間）、吉野支部長（2 年間）、小松支部長（2 年間）、佐野支部長（2 年間）のもと事務局を担当し、さらに全国大会の事務局（塩田実行委員長と小松実行委員長）も担当して支部運営に尽力された。支部理事、常任理事、こしき編集委員長などを歴任され、現在では副支部長として、支部運営に大きく貢献されている。

鑄造カレッジの中国地区での立ち上げ時には、佐野支部長とともに講義内容の企画など、組織づくりを円滑に遂行し、支部の活性化に努力されてきた。

黒川 豊（株式会社 ツチヨシ産業）

長年、鑄造に関する分析技術等の研究を行われ、支部での研究発表を続けるなど、中国四国地域の技術レベル向上に貢献された。

分析技術の研究としては、「生型砂中のオーリチックス定量法の確立」と「鑄造欠陥に対する SEM・EDS 分析適用と、そのデータ解析による欠陥対策法の確立」の二点が特に上げられる。これら分析技術を中国四国支部に広め、地区の鑄造技術の発展に大きく貢献された。

奨励賞：2 件

枝根 和也（株式会社 ツチヨシ産業）

「ノルム法補正 X 線回折シリカプログラム法の開発」

門井 浩太（広島大学大学院 工学研究院）

「鑄造、溶接などの熔融加工中の凝固現象とその制御に関する研究」

片島賞：

1	<p>- 研究論文 -</p> <p>半導体レーザによる球状黒鉛鑄鉄製プレス金型の表面焼入れ：<u>友廣和照</u>，<u>角井洵</u>，<u>岩田寛之</u>(友鉄工業)，<u>後藤光宏</u>，<u>竹下司</u>(富士高周波工業)，<u>辻川正人</u>(大阪府立大学)，<u>鑄造工学</u>，Vol.85 No.1 Page.3-8</p>
2	<p>- 研究論文 -</p> <p>ダイカストの巻込み・ひけ巣欠陥予測シミュレーションの実験検証と精度向上：<u>大塚幸男</u>(高知工科大学)，<u>鑄造工学</u>，Vol.85 No.2 Page.92-98</p>
3	<p>- 研究論文 -</p> <p>小型電磁気センサを利用したダクタイル鑄鉄の圧縮応力測定の検討：<u>向井健</u>(大分大学大学院)，<u>後藤雄治</u>(大分大学工学部)，<u>上野純平</u>(大分大学大学院)，<u>岡城康治</u>，<u>笠原康正</u>(北川鉄工所)，<u>鑄造工学</u>，Vol.85 No.12 Page.872-880</p>
4	<p>- 研究論文 -</p> <p>Effect of Surface Treatment on Glossiness of Al-Mg-Zn Alloy Casting：<u>Makoto Hino</u>，<u>Koji Murakami</u>，<u>Norihito Nagata</u>，<u>Chie Ibata</u>，<u>Hideaki Kanetsuki</u> and <u>Sadao Kawai</u>，<u>Material Transaction</u>Vol.54,No12,pp.2238-2244</p> <p>- 技術論文 -</p> <p>Al-Mg-Zn 合金及び AC4CH 合金鑄物への無電解 Ni-P めっきに対する金属組織の影響：<u>日野実</u>，<u>村上浩二</u>(岡山県工技セ)，<u>永田教人</u>(サーテック永田)，<u>金築秀樹</u>，<u>河合定夫</u>(光軽金属工業)，<u>金谷輝人</u>(岡山理科大学)，<u>鑄造工学</u>，Vol.85 No.10 Page.677-682</p>
5	<p>- 技術報告 -</p> <p>1 電源 2 炉方式鑄鉄溶解における対作業インターフェイスを加味した電力制御の構築：<u>豊田茂</u>(大和重工)，<u>鑄造工学</u>，Vol.85 No.6 Page.349-353</p>
6	<p>- 技術報告 -</p> <p>小ロット鑄鉄鑄物の高品質・高効率砂型造型システムの開発と実用化：<u>大亀右問</u>，<u>吉田千里</u>(大亀製作所)，<u>今村信人</u>(東久)，<u>松尾吉高</u>(大銑産業)，<u>鑄造工学</u>，Vol.85 No.8 Page.504-507</p>
7	<p>- 現場改善事例 -</p> <p>ダイカストにおける離型剤濃度の安定化による不良低減：<u>後藤都司也</u>，<u>徳橋博樹</u>，<u>大村展範</u>(リョービ)，<u>鑄造工学</u>，Vol.85 No.3 Page.176-179</p>
8	<p>- 現場改善事例 -</p> <p>低硫黄系フラン鑄型による職場環境及び球状黒鉛鑄鉄の鑄肌品質の改善：<u>小谷友勝</u>，<u>安達将志</u>，<u>目次真一</u>，<u>荻野知也</u>(ヤンマーキャステクノ)，<u>鑄造工学</u>，Vol.85 No.6 Page.365-368</p>
9	<p>- 現場改善事例 -</p> <p>大型鑄鋼品における焼着きの低減：<u>守武伸</u>，<u>大草勉</u>，<u>李保柱</u>，<u>山田直司</u>，<u>田中武志</u>，<u>岩崎光洋</u>，<u>島津幸称</u>，<u>部坂崇</u>，<u>塚原靖敏</u>(宇部スチール)，<u>鑄造工学</u>，Vol.85 No.6 Page.369-372</p>
10	<p>- 現場改善事例 -</p> <p>キュボラ改造による棚吊り防止とベール配合率の向上：<u>平岡勝美</u>，<u>山本道教</u>，<u>中原秀直</u>，<u>杉一憲</u>，<u>新藤祐二</u>，<u>上田孝行</u>(ヨシワ工業)，<u>鑄造工学</u>，Vol.85 No.7 Page.435-438</p>